



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月13日

上場会社名 フルハシEPO株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 9221 URL https://www.fuluhashi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 直彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 総務部長 (氏名) 上野 徹 (TEL) (052) 324-9088
 定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月10日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	9,383	7.2	1,152	10.9	1,432	15.0	1,033	292.5
2024年3月期	8,753	8.4	1,039	23.9	1,246	18.7	263	△64.6

(注) 包括利益 2025年3月期 1,025百万円(266.5%) 2024年3月期 279百万円(△62.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	87.88	—	19.5	12.2	12.3
2024年3月期	22.41	—	5.2	11.0	11.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 45百万円 2024年3月期 32百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 2024年3月期において、特別損失に投資有価証券評価損、債務保証損失引当金繰入額を計上しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	12,169	5,591	45.9	483.08
2024年3月期	11,325	5,023	44.4	427.32

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,591百万円 2024年3月期 5,023百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,319	△2,296	△349	992
2024年3月期	1,742	△634	△1,253	2,313

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	305	116.0	6.1
2025年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00	326	31.9	6.2
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		38.4	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,994	11.5	609	37.1	603	△8.9	397	△10.6	34.35
通期	10,322	10.0	1,303	13.1	1,335	△6.8	905	△12.4	78.22

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	11,779,600株	2024年3月期	11,760,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期	204,408株	2024年3月期	4,360株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	11,757,727株	2024年3月期	11,748,004株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	7,790	8.5	1,063	18.9	1,372	20.6	1,001	407.4
2024年3月期	7,177	9.1	894	26.9	1,137	22.0	197	△70.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	85.20	—
2024年3月期	16.81	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2024年3月期において、特別損失に投資有価証券評価損、債務保証損失引当金繰入額を計上しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	11,233	5,248	46.7	453.39
2024年3月期	10,416	4,706	45.2	400.34

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,248百万円 2024年3月期 4,706百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化等によるエネルギー資源及び原材料価格の高騰、円安や米国の通商政策への懸念もあり、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

そのような経済情勢の中、当社グループは循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現を牽引し、さらなる成長と飛躍することを目指して、中期経営計画「Fuluhashi Sustainable Plan 80th」を策定いたしました。この中期経営計画は2025年3月期から当社の設立80周年年度であります2028年3月期までの4年間にわたる成長戦略を示すものです。特に“量的拡大”を重要な事業戦略として、本期間で合計約100億円の投資を行い、中日本及び東日本を中心に新工場を建設することで、木質バイオマスを年間100万トン取り扱える体制を目指しております。中期経営計画の着実な実行のため、既存事業の生産性と効率性を強化するとともに、事業拡大に向けた積極的な投資活動を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は9,383,585千円（前連結会計年度比107.2%）、営業利益は1,152,772千円（前連結会計年度比110.9%）、経常利益は1,432,873千円（前連結会計年度比115.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,033,234千円（前連結会計年度比392.5%）となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、前連結会計年度との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

<バイオマテリアル事業>

「バイオマテリアル事業」では、建設工事、建物解体工事で発生する廃木材のほか、使用済み木質パレット、梱包材、街路樹剪定材等の木質廃棄物の処理を受託し、製紙用・木質建材ボード用の原料チップ、バイオマス発電向け燃料チップとして再資源化を行っております。当社はこれらの再資源化で資源循環型社会の実現に貢献しております。木材チップの需要状況においては、輸入燃料の価格変動が落ち着く中、カーボンニュートラル需要を背景にリサイクルチップの需要は引き続き増加しており、当社が製造する高品質な木材チップへの期待は増加しております。木材チップの原料調達については、厳しい市況環境においても新規顧客の獲得等に注力し、安定した数量を確保しました。2024年10月に愛知県一宮市の「愛知第八工場（一宮）」が本格稼働を開始し、初月の原料調達数量が過去最高を記録する等調達基盤の拡充に大きく貢献しました。さらに、2025年1月から能登半島震災の被災地で発生した災害廃棄物の受入れを開始したことで調達数量が増加し、全体的な原料調達数量は堅調に推移いたしました（前連結会計年度比109.6%）。原料調達の単価につきましては、2025年1月に実施した調達単価の改定が売上高増加の一因となりました。木材チップ販売につきましては、原料調達数量の増加に伴う生産量増加及び販売単価の改定効果影響により、増収となりました（販売単価前連結会計年度比105.5%）。以上の結果、セグメント売上高は6,848,372千円（前連結会計年度比109.1%）、セグメント利益は1,090,884千円（前連結会計年度比121.7%）となりました。

<資源循環事業>

住宅建設の際に発生する建設副産物の再資源化でサーキュラーエコノミー社会の実現に貢献する「資源循環事業」では、住宅市場の動向を注視することが重要となります。住宅資材の高騰やそれに伴う住宅価格の上昇等の影響もありましたが、直近の住宅着工件数は前年度比2.0%増となりました。しかしながら、大手住宅メーカーでは新規での住宅受注の確保が難航しており、分譲戸建て住宅においても、完工済み住宅が過剰な状態で新規着工が遅延しがちな状況でありました。こうした中、当社グループでは、エリア展開営業の強化、工事着工件数を維持する取引先へのシェアアップ、地域に密着した中堅建設会社を中心とした既存顧客のインナーシェアアップに注力しました。さらに、廃棄物の広域的な処理に対し地方公共団体ごとの許可が不要となる広域認定制度利用を開始する取引先への営業に注力する等、受注量の確保に努めました。以上の結果、セグメント売上高は1,591,984千円（前連結会計年度比102.0%）、セグメント利益は72,254千円（前連結会計年度比90.4%）となりました。

<その他>

木製パレット等の物流機器の製造・仕入・販売を展開している「環境物流事業」では、物流資材のリユース・リニューアルサービスに注力いたしました。物流業界では2024年問題の規制対応により生じる不要物流機器の再利用等、一連の製品ライフサイクルを踏まえた物流機器の買い取りサービス、また、中古リニューアル品の販売では顧客ニーズにあわせたリメイク商品提案やイニシャルコスト削減商品としての提案等により販売に注力いたしました。

「環境コンサルティングサービス事業」では、TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」及び製品・サービスのライフサイクルにおける環境負荷を定量的に評価するライフサイクルアセスメント (LCA : Life Cycle Assessment) 支援等のカーボンニュートラル関連におけるサービスに引き続き注力しました。費用面では今後の需要増加を見込み、人的資本への投資額が増加いたしました。以上の結果、セグメント売上高は1,305,025千円 (前連結会計年度比106.6%)、セグメント損失は2,458千円 (前連結会計年度は、63,006千円のセグメント利益) となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は12,169,338千円となり、前連結会計年度末から843,390千円増加しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末から1,178,546千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,320,383千円減少したことによるものです。

固定資産は前連結会計年度末から2,021,936千円増加しました。これは主に、新工場建設予定地の取得により土地が1,080,869千円、新設予定である名古屋工場等の設備投資等により建設仮勘定が381,570千円、愛知第八工場 (一宮) を新設したことにより建物及び構築物が376,706千円、更なる業容拡大を目的とした本社機能の拡充等にかかる設備投資等により有形固定資産その他 (工具、器具及び備品) が131,713千円増加したことによるものです。なお、これらの原資には保険積立金の一部を解約したことによる収入146,888千円を含んでおります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は6,577,605千円となり、前連結会計年度末から275,455千円増加しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動負債は前連結会計年度末から543,078千円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が233,234千円減少したものの、短期借入金が941,700千円増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末から267,623千円減少しました。これは主に、リース債務が93,927千円増加したものの、長期借入金が397,633千円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,591,732千円となり、前連結会計年度末から567,935千円増加しました。これは主に、自己株式を取得したことにより自己株式が160,845千円増加 (純資産は減少) したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が715,548千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から1,320,383千円減少し992,864千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1,319,175千円(前連結会計年度は、1,742,502千円の資金増加)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上1,457,045千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2,296,457千円(前連結会計年度は、634,610千円の資金減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,350,043千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、349,988千円(前連結会計年度は、1,253,492千円の資金減少)となりました。主な要因は、短期借入金の借入による収入941,700千円増加したものの、長期借入金の返済による支出835,761千円、配当金の支払額317,686千円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、社会共通の課題として、カーボンニュートラルへの取組み、資源の循環利用を実現する「循環経済(サーキュラーエコノミー)」への移行とその加速が求められております。

こうした中、当社グループは、積極的な成長投資等によって、国産の再生資源の量的拡大を推進していきます。バイオマテリアル事業において、名古屋工場の新規開設を予定(2025年10月)しております。

上記の状況を鑑み、次期連結会計年度の業績見通しにつきましては、売上高は10,322,128千円、営業利益は1,303,470千円、経常利益は1,335,082千円、親会社株主に帰属する当期純利益は905,414千円になると予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、将来のIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,426,247	1,105,864
受取手形、売掛金及び契約資産	1,030,928	1,097,670
商品及び製品	41,550	59,670
仕掛品	93,905	118,854
原材料及び貯蔵品	27,258	29,818
その他	146,502	170,074
貸倒引当金	△7,092	△1,197
流動資産合計	3,759,301	2,580,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,806,558	5,401,119
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,487,988	△2,705,842
建物及び構築物（純額）	2,318,570	2,695,277
機械装置及び運搬具	2,125,298	2,298,277
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,649,622	△1,810,449
機械装置及び運搬具（純額）	475,675	487,828
土地	2,806,820	3,887,690
リース資産	1,013,025	938,646
減価償却累計額	△512,145	△333,227
リース資産（純額）	500,879	605,419
建設仮勘定	248,919	630,489
その他	228,231	407,515
減価償却累計額及び減損損失累計額	△185,818	△233,387
その他（純額）	42,413	174,127
有形固定資産合計	6,393,279	8,480,832
無形固定資産		
リース資産	19,450	15,515
その他	27,219	62,173
無形固定資産合計	46,669	77,689
投資その他の資産		
投資有価証券	272,121	282,406
長期貸付金	10,768	9,664
繰延税金資産	250,367	293,514
保険積立金	378,771	231,882
その他	217,791	216,258
貸倒引当金	△3,123	△3,664
投資その他の資産合計	1,126,696	1,030,061
固定資産合計	7,566,646	9,588,583
資産合計	11,325,947	12,169,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,254	138,621
短期借入金	310,000	1,251,700
1年内返済予定の長期借入金	829,218	595,984
リース債務	164,191	168,260
未払法人税等	295,276	260,755
賞与引当金	158,151	175,663
その他	960,806	864,993
流動負債合計	2,912,899	3,455,978
固定負債		
長期借入金	1,721,852	1,324,219
リース債務	363,162	457,089
役員退職慰労引当金	302,900	306,340
債務保証損失引当金	514,477	469,660
退職給付に係る負債	406,725	478,420
資産除去債務	73,133	77,416
その他	7,000	8,480
固定負債合計	3,389,250	3,121,626
負債合計	6,302,150	6,577,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,497,569	1,507,815
資本剰余金	1,262,891	1,273,137
利益剰余金	2,230,797	2,946,345
自己株式	△582	△161,427
株主資本合計	4,990,676	5,565,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,218	11,961
為替換算調整勘定	18,902	33,285
退職給付に係る調整累計額	—	△19,384
その他の包括利益累計額合計	33,121	25,862
純資産合計	5,023,797	5,591,732
負債純資産合計	11,325,947	12,169,338

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,753,627	9,383,585
売上原価	4,727,283	5,088,377
売上総利益	4,026,343	4,295,208
販売費及び一般管理費	2,986,654	3,142,436
営業利益	1,039,689	1,152,772
営業外収益		
受取利息	168	453
受取配当金	7,855	8,419
持分法による投資利益	32,914	45,241
保険解約返戻金	181,775	195,592
債務保証損失引当金戻入額	—	44,816
その他	35,067	51,783
営業外収益合計	257,782	346,307
営業外費用		
支払利息	37,534	42,989
支払手数料	8,429	732
売上債権売却損	—	18,895
その他	5,324	3,589
営業外費用合計	51,288	66,207
経常利益	1,246,183	1,432,873
特別利益		
固定資産売却益	35,079	28,490
投資有価証券売却益	—	50,000
特別利益合計	35,079	78,490
特別損失		
固定資産売却損	—	2,595
固定資産除却損	2,471	5,308
投資有価証券評価損	98,799	—
債務保証損失引当金繰入額	514,477	—
減損損失	—	46,415
特別損失合計	615,749	54,318
税金等調整前当期純利益	665,513	1,457,045
法人税、住民税及び事業税	450,748	457,048
法人税等調整額	△48,499	△33,237
法人税等合計	402,248	423,810
当期純利益	263,265	1,033,234
親会社株主に帰属する当期純利益	263,265	1,033,234

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	263,265	1,033,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,061	△2,257
為替換算調整勘定	5,608	14,382
退職給付に係る調整額	—	△19,384
その他の包括利益合計	16,670	△7,258
包括利益	279,935	1,025,975
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	279,935	1,025,975
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,497,569	1,246,134	2,296,325	△4,026	5,036,003
当期変動額					
剰余金の配当			△328,793		△328,793
親会社株主に帰属する 当期純利益			263,265		263,265
自己株式の処分		16,757		3,444	20,201
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	16,757	△65,528	3,444	△45,326
当期末残高	1,497,569	1,262,891	2,230,797	△582	4,990,676

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,157	13,293	16,450	5,052,453
当期変動額				
剰余金の配当				△328,793
親会社株主に帰属する 当期純利益				263,265
自己株式の処分				20,201
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	11,061	5,608	16,670	16,670
当期変動額合計	11,061	5,608	16,670	△28,656
当期末残高	14,218	18,902	33,121	5,023,797

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,497,569	1,262,891	2,230,797	△582	4,990,676
当期変動額					
新株の発行	10,246	10,246			20,492
剰余金の配当			△317,686		△317,686
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,033,234		1,033,234
自己株式の取得				△160,845	△160,845
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,246	10,246	715,548	△160,845	575,194
当期末残高	1,507,815	1,273,137	2,946,345	△161,427	5,565,870

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	14,218	18,902	—	33,121	5,023,797
当期変動額					
新株の発行					20,492
剰余金の配当					△317,686
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,033,234
自己株式の取得					△160,845
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,257	14,382	△19,384	△7,258	△7,258
当期変動額合計	△2,257	14,382	△19,384	△7,258	567,935
当期末残高	11,961	33,285	△19,384	25,862	5,591,732

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	665,513	1,457,045
減価償却費	549,036	609,713
減損損失	—	46,415
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,946	△5,353
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,438	17,511
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,520	3,440
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	124,492	42,527
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	514,477	△44,816
受取利息及び受取配当金	△8,023	△8,872
支払利息	37,534	42,989
持分法による投資損益 (△は益)	△32,914	△45,241
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△50,000
投資有価証券評価損益 (△は益)	98,799	—
固定資産売却損益 (△は益)	△35,079	△25,895
固定資産除却損	2,471	5,308
売上債権の増減額 (△は増加)	40,158	△63,522
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,648	△42,572
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,245	△58,054
その他	155,781	△43,530
小計	2,134,857	1,837,091
利息及び配当金の受取額	50,543	37,776
利息の支払額	△37,236	△38,753
法人税等の支払額	△406,380	△516,938
法人税等の還付額	718	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,742,502	1,319,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△692,183	△2,350,043
有形固定資産の売却による収入	36,902	43,882
無形固定資産の取得による支出	△12,719	△44,225
投資有価証券の売却による収入	—	52,800
貸付金の回収による収入	5,381	1,104
その他	28,008	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634,610	△2,296,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△200,000	941,700
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△925,888	△835,761
自己株式の取得による支出	—	△161,087
リース債務の返済による支出	△198,810	△177,153
配当金の支払額	△328,793	△317,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,253,492	△349,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	348	6,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△145,251	△1,320,383
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,499	2,313,247
現金及び現金同等物の期末残高	2,313,247	992,864

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月27日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月26日を払込期日とする第三者割当増資（譲渡制限付株式報酬制度による第三者割当増資）により、新株式18,800株を発行しております。当該増資により、資本金及び資本準備金はそれぞれ10,246千円増加しております。

また、2025年3月10日開催の取締役会決議に基づき、2025年3月11日に自己株式200,000株を取得したことにより、自己株式が160,800千円増加（株主資本は減少）しております。

以上の結果により、当連結会計年度末において資本金は1,507,815千円、資本剰余金は1,273,137千円、自己株式は161,427千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、バイオマテリアル事業及び資源循環事業の2つの事業を中心に組織が構成されており、各事業単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、「バイオマテリアル事業」及び「資源循環事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「バイオマテリアル事業」は、木質系廃材の処理受託、木質資源チップ（原料チップ、燃料チップ）の製造及び販売を行っております。「資源循環事業」は、建設副産物の再資源化処理の受託及び建設副産物の再資源化製品の製造販売を行っております。

(3) 報告セグメントの変更に関する事項

当連結会計年度より、2024年5月に策定した中期経営計画「Fuluhashi Sustainable Plan 80th」の方針に基づき、各事業の位置付けを明確化し、コア業務を主体に売上・利益を拡大することを目的として、これまでの「バイオマテリアル事業」、「資源循環事業」、「環境物流事業」の3つの報告セグメントを「バイオマテリアル事業」、「資源循環事業」の2つの報告セグメントへ変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	バイオマテ リアル事業	資源循環 事業	計				
売上高							
廃棄物処分・ 収集運搬	3,741,083	1,521,387	5,262,470	135	5,262,605	—	5,262,605
製品・商品 (注) 5	2,199,310	6,594	2,205,904	738,742	2,944,647	—	2,944,647
その他(注) 6	273,688	26,788	300,476	245,897	546,374	—	546,374
顧客との契約 から生じる収益	6,214,081	1,554,769	7,768,851	984,775	8,753,627	—	8,753,627
外部顧客への 売上高	6,214,081	1,554,769	7,768,851	984,775	8,753,627	—	8,753,627
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	61,271	6,403	67,674	239,235	306,910	△306,910	—
計	6,275,353	1,561,172	7,836,526	1,224,010	9,060,537	△306,910	8,753,627
セグメント利益	896,429	79,960	976,389	63,006	1,039,395	294	1,039,689
その他の項目							
減価償却費	455,086	42,235	497,321	6,460	503,782	45,254	549,036

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境物流、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 減価償却費の調整額には、セグメント間減価償却費△3,479千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費48,734千円が含まれております。
5. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木材チップと、「その他事業」環境物流における木質パレット等を含む物流機器の販売であります。
6. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。
7. セグメント資産及びセグメント負債は、事業セグメントに配分していないため、記載していません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	バイオマテ リアル事業	資源循環 事業	計				
売上高							
廃棄物処分・ 収集運搬	4,131,500	1,554,735	5,686,235	105	5,686,340	—	5,686,340
製品・商品 (注) 5	2,383,415	7,398	2,390,814	756,392	3,147,206	—	3,147,206
その他(注) 6	265,876	26,109	291,986	258,052	550,038	—	550,038
顧客との契約 から生じる収益	6,780,792	1,588,244	8,369,036	1,014,549	9,383,585	—	9,383,585
外部顧客への 売上高	6,780,792	1,588,244	8,369,036	1,014,549	9,383,585	—	9,383,585
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	67,580	3,740	71,320	290,476	361,797	△361,797	—
計	6,848,372	1,591,984	8,440,357	1,305,025	9,745,383	△361,797	9,383,585
セグメント利益 又は損失(△)	1,090,884	72,254	1,163,139	△2,458	1,160,680	△7,907	1,152,772
その他の項目							
減価償却費	471,266	51,047	522,313	10,996	533,309	76,403	609,713

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境物流、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 減価償却費の調整額には、セグメント間減価償却費△3,541千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費79,945千円が含まれております。
5. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木材チップと、「その他事業」環境物流における木質パレット等を含む物流機器の販売であります。
6. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。
7. セグメント資産及びセグメント負債は、事業セグメントに配分していないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業	全社・消去	合計
	バイオマテリアル事業	資源循環事業	計			
減損損失	—	46,415	46,415	—	—	46,415

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	427円32銭	483円08銭
1株当たり当期純利益金額	22円41銭	87円88銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	263,265	1,033,234
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	263,265	1,033,234
普通株式の期中平均株式数(株)	11,748,004	11,757,727

(重要な後発事象)

該当事項はありません。